

男は囚人。
女は人妻。
愛、狂おしく
命果てるまで

燃え尽きるまで

MRS. SUFFEL



ダイアン・キートン/メル・ギブソン/マシュー・モディン/エドワード・ハーマン/トリニ・アルバラード

監督 ギリアン・アームストロング 製作 エドガー・リシェリク スコット・ルーティン デヴィッド・A・ニクセイ 脚本 ロン・ナイスワナー 撮影 ラッセル・ボイト, A.C.S. 音楽 マーク・アイシャム MGM/UA映画 配給 UIP配給

カラー作品

一九〇一年、エドとジャックのビドゥル兄弟は、ピッツバーグ郊外の食料品店主トーマス・D・カーター殺害事件で有罪となった。だが、死刑執行まであと二カ月足らずというある冬の日に脱獄した。

当時のある関係者は、この事件を「二十世紀に於ける最悪の犯罪」と表現した。ビドゥル兄弟の犯行を言ったのではなく、ふたりの逃亡に手を貸した人物の事をさしたのである。その人物とは、刑務所長夫人のケイト・ソッフルであった。

死刑執行までのわずかな期間をすごした刑務所で、エドとケイトは恋におち、脱獄して恋の逃避行を演じたのだ。事件が大変なスキャンダルを巻き起こしたことは、いうまでもない。

しかし、運命的に始まったこの恋は、死によって完結したのではなかった。ふたりのうちのひとりが生き残ったからである。今世紀初め、数週間にわたってピッツバーグの新聞の一面を賑わせたこの実話を映画化したのは、オーストラリアの女流監督ジリアン・アームストロングである。彼女はシヨッキングかつパワフルなこの恋の主人公たちを、オスカ女優優のダイアン・キートンと、いま最も脂ののりきつているメル・ギブソンで撮ることに決めた。

D・キートンは信仰心厚く良き母でありながら、命を賭けた人生の選択を迫られ、不安におのきなげながらも愛への道を選ぶケイト・ソッフルを演じている。彼女がこれまでに演じたどんな女性よりも、強く、複雑で、成熟した女であるともいえる。



愛である。ケイト・ソッフルの情熱は、すべての男の心に、すべての女の胸に、秘められているとは言いえないだろうか。アームストロングは言う。これは他のすべてを超越してしまったラブ・ストーリーです。一度も恋をしないより、恋をして失った方がいい」という金言があります。それがこの映画のテーマなのです。

当時の資料を研究して脚本を書いたのは、スーザン・サイデルマン監督（『アドナ』のサイザンを探してこの処女作『スミサリンス』などを手がけたロン・ナイスワナー。彼が最も熱中したのが、記録にない部分。すなわち、死刑囚の監房を訪ねるケイトとエドの間に交わされ、恋を昇めていった会話部分であった。撮影は英アカデミー撮影賞を獲得した『フック・アット・ハンギングロック』や『危険な年』などで美しい映像作りに定評のあるラッセル・ボイドが担当。実際の服役者をエキストラに使った監房シーンと、スケールの大きな雪原を舞台にしたスピード感あふれる逃走シーンのコントラストは見事である。

重厚で美しい音楽は『ネバー・クライ・ウルフ』のマーク・アイシャム。

その他のキャストには、エドの弟ジャックに『ホテル・ニューハンプシャー』のバーティ・マティン。ケイトの夫ビクターに『ペーパー・チエイス』のレス・カイロの紫のバラ、アメリカではテレビで演じたフランクリン・ルースベルト（エミー賞受賞）の印象が強いベテランエドワード・ハーマン。長女アイリーンに『タイム・スナッフ』のトリニ・アルバード。

次女マーガレットに『ホテル・ニューハンプシャー』で成長が止まってしまい、作家となるリリー役を演じたジェニータンダス。エドの元恋人に『リトル・ドラマー・ガール』のフレッチャーのタナ・ウィラー・ホルソン。十歳のエディに『天使の失踪』で誘拐される少年を演じたダニー・コーキルと共演者達も充実している。

＜スタッフ＞

監督……………ジリアン・アームストロング
脚本……………ロン・ナイスワナー
撮影……………ラッセル・ボイド、A.C.S.
音楽……………マーク・アイシャム

＜キャスト＞

ケイト・ソッフル……………ダイアン・キートン
エド・ビドゥル……………メル・ギブソン
ジャック・ビドゥル……………マシュー・モディン
ビクター・ソッフル……………エドワード・ハーマン

燃えるまぐ

渋谷 PARCO SPACE PART 3 PART 3 8F

上映時間(連日) 12:15 2:30 4:45 7:00
お問い合わせは (477)5858

特別鑑賞券1,200円発売中
(当日一般1,500円/学生1,300円の処)

六本木 俳優座シネマテン

連日夜10時開映
夜10時以外の昼の追加上映は下記の通りです。
11月29.30/12月26.27.28 1:00 3:15 5:30 7:45 10:00
12月7.14/1月11.13.15.18.20 5:30 7:45 10:00
1月12. 14. 16. 19. 21 12:00 2:10 10:00
お問い合わせはPM1:00~6:30 (401)4073
PM8:30~11:30 (470)2880

●12月29日~1月5日は休映

11月29日(土)より
ロードショー

(カラー作品)MGM・UFA映画 配給